（様式－1）

災　害　速　報

関東支部

発生日時	令和6年10月4日　（金曜日）16 時00 分頃							天候	雨	
災害の程度	死亡　　名		負傷　1名		職種　送電土工		年令38 才		経験年数5年8ケ月	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況

【件名】
モノレール設置作業終了後，巡視路外を下山中に転倒負傷

【発生状況】
・モノレール設置作業終了後，他作業員と共にモノレール基地へ向かい巡視路を下山した。
・被災者は途中で一人休憩し，他作業員と離れた後，巡視路ではないモノレール設置ルート沿いを下山した。
・その後（推定），下山途中で足を滑らせ転倒し咄嗟に右手を着いた際，モノレールのレール支柱に右腕を接触させ，右肘内を切創した。

【時系列】
10月4日 8:00 現場にてTBM-RKY実施後，モノレール設置作業開始
15:50 モノレール設置作業終了
15:50 モノレール基地（車両駐車位置）へ向けて全員で巡視路を下山開始
15:55 被災者は他作業員と離れ，モノレール設置ルート沿いを下山（他作業員は巡視路を下山）
16:00頃 災害発生
※足を滑らせ転倒し咄嗟に右手を着いた際，レール支柱に右腕を接触させ負傷
16:30 車両駐車箇所到着（現場スタッフと合流）　解散（被災者より負傷の報告なし）
20:00 被災者本人が運転し，病院にて受診　右腕右肘内側切創と診断 6針縫合
※被災者より作業班長・現場代理人等への報告はなし

10月5日 8:10 モノレール設置作業開始
15:45 モノレール設置作業終了
18:00 被災者は縫合した傷口確認のために通院

10月6日 21:00頃　被災者が右腕に異変を感じ，病院を再受診した結果，入院

10月7日 7:40 一次下請作業班長より現場代理人へ，被災者が宿の外でケガをして入院したと報告
8:30 現場代理人より一次下請作業班長に，被災者の状況について詳細を確認するよう指示
9:50 一次下請作業班長より現場代理人へ詳細内容を報告 ※災害発生の事象が判明
10:49 現場代理人から東電PG監理員へ報告

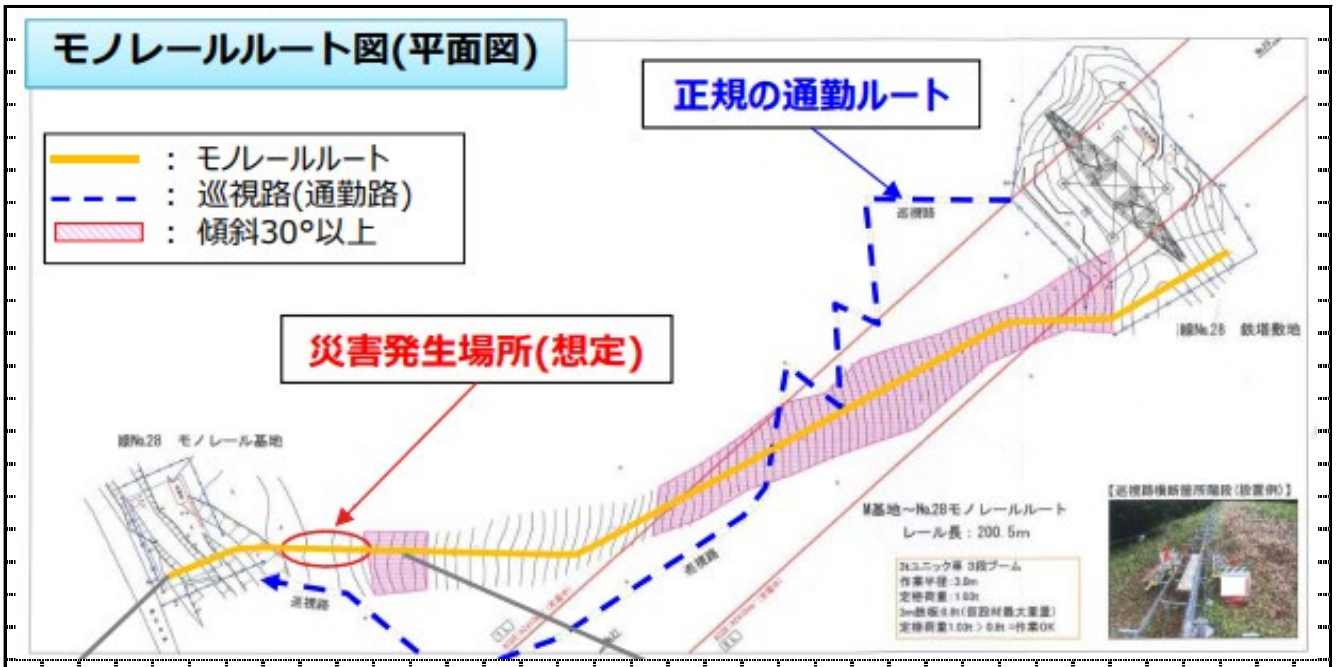
【被災程度】
右腕右肘内側切創（6針縫合した後，傷口が化膿）

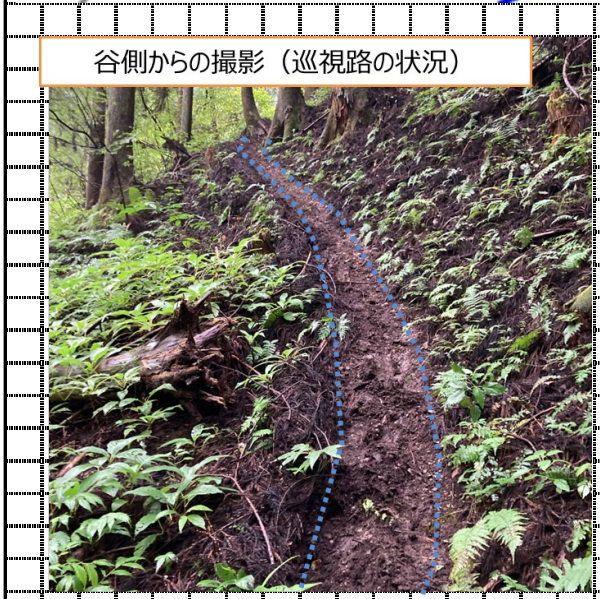
【服装】
安全帽，作業着（上下），手袋，安全長靴

【添付資料】
災害概要図

（様式－2）

災　害　概　要　図

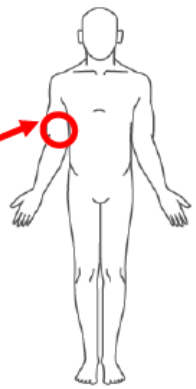




【右肘内側　切創】

■診断結果

・20mm×40mm
　L字型に切創
　6針縫合処置
壊死性筋膜炎・右上肢
皮膚軟部組織感染症



被災者は，モノレール設置作業終了後，他作業員と共に巡視路を下山中，休憩のため他作業員と離れ，巡視路ではないモノレールルート沿いを移動していたところ，以下写真のように足を滑らせ転倒し，その際に，モノレールのレール支柱に右手が接触し，右肘内側を負傷